

# みちしお

〒732-8510 広島市東区東蟹屋町9-34

東区総合福祉センター4階

TEL (082) 263-8443

FAX (082) 264-9254

E-mail : [higashi@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:higashi@shakyohiroshima-city.or.jp)

<http://www.shakyo-hiroshima.jp/higashi/>



イベントごとが増える季節です。こまめな換気、アルコール消毒  
や手洗いなどコロナ感染予防対策をより一層強めていきましょう。  
また、朝夕は冷えるので、免疫力を上げていきましょう。



## 令和4年度 東区青少年福祉体験講座を開催しました

●東区青少年福祉体験講座「Let's TRY ミニボラ」とは  
「ボランティアをしてみたい」「子どもに関わりたい」「障がいについて学びたい」「学校では学べないことを学びたい」そんな思いを持っている学生を対象に、ボランティアの企画・活動を通して様々な体験を行い、主体的に参加する中からボランティアの楽しさ、意義を知ってもらうための講座です。今年度は、「ちやいちやいクラブ」とのコラボにより、3日間の日程で開催しました。



疑似体験を行い、当事者の気持ち  
について理解を深めました

【1日目 講座受講中】



【2日目 ちやいちやい夏祭りの準備中】



【1日目 講師の広島市手をつなぐ 育成会  
「ひろしま♡あび♡隊」の皆さん】



今年度から「Googleフォーム」を使って、インターネットからの申し込みを可能にした結果、広範囲の8つの学校から大学生11名、高校生2名の計13名の参加がありました。

3日目の「ちゃいちゃいくらぶ」の夏祭りでは、参加した親子が楽しめるように、学生ボランティアが工夫し、お菓子釣りゲームなど様々なゲームで盛り上げました。

多くの受講生の感想で、講座に参加する前と後で、障がいに対する考え方やボランティアに対する意識が変わったとの回答がありました。



【3日目 スタンプを全部集めてお菓子釣りに挑戦!】

今後も、皆さんが楽しめる行事を企画し、参加して下さった親子や学生とのつながりを大切にしながら、障がいの理解を広めることのできる行事の開催をしていきます。

### ●ちゃいちゃいくらぶとは

18歳以下の障がいのある子どもたちを対象に、手をつなぐ育成会と共催で、季節行事を年3回開催しています。家族同士のつながり作りや学生ボランティアとの交流を通じて、親子だけでは体験できない楽しさを仲間と一緒に分かち合うことを目的としています。

ボランティアは人のためにすることだと思っていたけど、自分自身成長することができたので自分のためでもあると思った。

「できない」ことが多くあると思っていたけど、時間をかけて何度も挑戦することで、徐々にできるようになることが分かった。

手先の不自由さや聴覚過敏など、疑似体験を通して生活の難しさを理解することができた。

子どもたちがいろんなゲームに対して一生懸命に楽しそうに遊んでくれていたので、頑張って準備できて良かった。何度も遊んでくれて嬉しかった。

ボランティアは、思っていた以上に楽しく、やりがいを感じました。

受講生から感想を頂きました!



↑手作りうちわです  
←お菓子釣りのお菓子の袋です





## 第2回ボランティアグループ連絡会を開催しました



8月26日（金）にボランティアグループ連絡会を開催しました。令和4年度の行事の報告や、各ボランティア活動の状況に関する情報交換をグループに分かれて行いました。また、今年度のちゃいちゃいまつりの開催について実行委員会で決定した内容の報告と財団助成の紹介、グループ活動紹介パネルの更新についてお願いしました。

## 点訳ボランティア入門講座を開催しました

令和4年9月～10月にかけて4回講座で、点訳サークルスターシックスと区社協の共催で点訳ボランティア入門講座を開催しました。

講座内容は、当事者である中神さんから視覚障がい者についてのお話、点字技術については、グループの皆さんが講師を務め、とてもアットホームな雰囲気で開催されました。



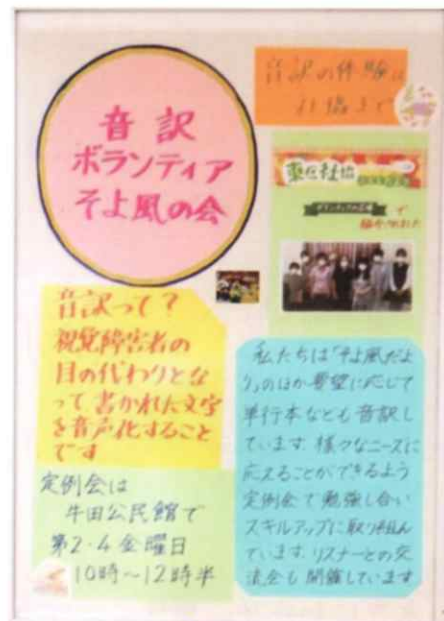
【メンバーが点訳について教えています】



## ボランティアグループの紹介パネル更新のお願い

ボランティアサロンに、ボランティアグループの紹介パネルの作成のための材料を設置しています。画用紙や折り紙、ペンなどは、ご自由にお使いください。更新をお願い致します。

実物のパネルを置いておりますので、実際にサイズを確認し、ハサミや鉛筆などが必要な場合は、事務局へお声掛けください。



更新  
ありがとうございます！





# 東区社協障がい理解の啓発月間のご案内

東区社協では、毎年12月を障がい理解の啓発月間とし、東区総合福祉センター4階に設置しています。知的障がいを学べるパネルや、障がいマークを学べるパネルなどを展示しておりますので、ぜひご覧ください。



↑素敵な作品がたくさん並んでいます  
障がいマークを紹介しているパネルです→

名称/マーク	所管/説明
【身体障害者標識】 	わかるかな? 
【建築物におけるバリアフリーについてのシンボルマーク】 	くわしくは 
【手話マーク】 	ここを 
【広島県おもいやり駐車場】 	めくってね! 

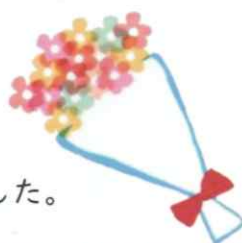
## ひまわり会・寿老園訪問グループ解散のお知らせ

東区社協登録ボランティアグループの「ひまわり会」と「寿老園訪問グループ」が、新型コロナウイルスの感染症の影響を受け、活動が困難になったことやメンバーの高齢化を理由に解散されることとなりました。

「ひまわり会」は、東区で初めてできたボランティアグループです。尾長地区で、一人暮らし高齢者の憩いの場の支援グループとして昭和56年に発足し、歌やゲーム、体操などの活動を支援してこられました。月に1回の定例会では、グループが昼食を作り、参加者の皆さんと一緒に食事をしながら交流し、生活の中のちょっとした困りごとや悩みの相談に乗ったり、世間話ができる場の提供など長年にわたり地域で支えてこられました。

「寿老園訪問グループ」は、民生委員の皆さんの「社会に役立つことをできないか」という声から昭和57年10月に発足。特別養護老人ホーム寿老園でイベントの飾りつけや、季節行事でのぜんざい、甘酒、かき氷、餅つきなどを作るお手伝いを続けてこられました。

永きにわたり、東区における地域ボランティア活動に多大なご協力をいただき、本当にありがとうございました。



【ひまわり会のサロンの様子】



【寿老園訪問グループの活動中】